

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年2月1日(2007.2.1)

【公表番号】特表2006-510784(P2006-510784A)

【公表日】平成18年3月30日(2006.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2006-013

【出願番号】特願2004-562697(P2004-562697)

【国際特許分類】

C 08 G 18/80 (2006.01)

C 09 D 5/02 (2006.01)

C 09 D 175/04 (2006.01)

C 09 J 175/04 (2006.01)

【F I】

C 08 G 18/80

C 09 D 5/02

C 09 D 175/04

C 09 J 175/04

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月5日(2006.12.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

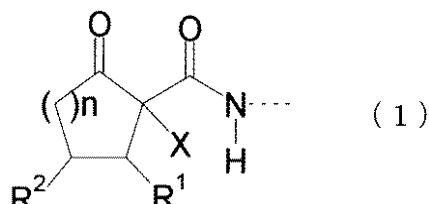
【請求項1】

i) 少なくとも30重量%のエチレンオキシド単位を含むポリアルキレンオキシドポリエーテルベースの非イオン的に親水化された基、及び/又は

ii) 水との相互作用時にpH依存解離平衡に達し、その結果、pHによって中性になるか、正又は負に帯電する、イオン的又は潜在イオン的に親水化された基、及び

iii) 式(1)：

【化1】



[式中、Xは電子求引性基であり、R¹及びR²は、相互に独立に、水素原子、飽和又は不飽和の脂肪族又は脂環式基、或いは任意に置換されていてよい芳香族又は芳香脂肪族基であり、各基は12個までの炭素原子を含み、nは0~5の整数である。]

に相当する少なくとも1個の構造単位

を有するポリイソシアネート。

【請求項2】

請求項1に記載のポリイソシアネートの製造方法であって、

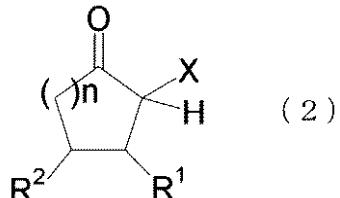
A) 1つ以上の有機ポリイソシアネートと、

B) b1) 少なくとも30重量%のエチレンオキシド単位を含むポリアルキレンオキシドポリエーテルベースの非イオン的に親水化された基、及び/又は

b2) 水との相互作用時に pH 依存解離平衡に達し、その結果、pH によって中性になるか、又は負に帯電する、イオン的又は潜在イオン的に親水化された基を有する少なくとも 1 個のイソシアネート反応基を含有する 1 つ以上の有機化合物、

c) 一般式 (2) :

【化 2】



[式中、X は電子求引性基であり、R¹ 及び R² は、相互に独立に、水素原子、飽和又は不飽和の脂肪族又は脂環式基、或いは任意に置換されていてよい芳香族又は芳香脂肪族基であり、各基は 12 個までの炭素原子を含み、n は 0 ~ 5 の整数である。] に相当する少なくとも 1 個の CH-酸性環状ケトンを含む 1 つ以上のブロッキング剤、及び

D) 任意に 1 つ以上の 400 までの分子量の 1 ~ 4 個のアミノ基を有する (環状) 脂肪族モノアミン及び / 又はポリアミン、並びに任意に 1 つ以上の 400 までの分子量の 1 ~ 4 個のヒドロキシル基を有する多価アルコール、任意にアミノアルコールとを、

E) 1 つ以上の触媒、

F) 任意に助剤及び添加剤、並びに

G) 任意に溶媒

の存在下で反応させる方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のポリイソシアネートの水溶液又は水性分散体。

【請求項 4】

- a) 請求項 1 に記載の 1 つ以上のポリイソシアネート、
 - b) 1 つ以上のフィルム形成樹脂、
 - c) 任意に触媒、
 - d) 任意に溶媒、及び
 - e) 任意に助剤及び添加剤
- を含む塗料組成物。